

ご挨拶

あけましておめでとうございます。昨年も支部の活動運営にご協力を賜り深く感謝申し上げます。本年も2月7日に根室管内住民大会が開催されます。ぜひ多くの皆様が参加され四島返還世論を喚起していただきますようよろしくお願い申し上げます。

支部長 白田

2010年2月7日「北方領土の日」根室管内住民大会 原点の地からひとりでも多くの声を届けよう！

今年は日曜日の開催です。西春別支所前からバスが運行します。

元島民の方以外の方も参加できます。ご近所お誘いあわせご参加ください。

【日時】 平成22年2月7日(日) 12:00～15:10

【場所】 根室市総合文化会館 大ホール

【参加申込】 1月26日までに推進員秋庭へご連絡ください。
(0153-75-2148、FAX 0153-75-0457)

【内容】 住民大会式典、北方領土返還の叫び12:00～
中学生弁論大会13:00～
アトラクション(未定)14:00～ 昼食用意します

【バス運行】

往 西春別支所 9:00発 役場 9:40発 本別海地域センター10:00発
休憩(道の駅) 根室 11:10着(昼食)
復 根室 15:30発 本別海地域センター 役場 17:00着
西春別支所17:30着

*申込の際に乗車場所をお知らせください。出発10分前にお集まりください。

啓発署名活動にご参加を！

あたたかい服装でぜひご参加ねがいます。

2月14日(日) 10:00～13:00【白鳥まつり会場】尾岱沼北方展望塔下
ふゆとぴあの署名活動については、根室管内住民大会と日程が重なったため、
実行委員会に依頼します。

< これからの予定 >

1/20 北方領土サミット研修「元島民二世の討議」サロ-ト西春別中

根室支庁の「北方領土サミット」開催事業について前号でお知らせしました。第二弾として、
テーマ「次世代の若者の視点による今後の北方領土返還要求運動等」に添った討議を実施。

二世の白崎青年部長を派遣し、討議の執り進めや意見集約等のサポートをします。

2/4 道議会北方領土対策特別委員会との意見交換会 根室市

道議会北方領土対策特別委員会が道内調査に来根します。2月4日(木)10:45～は元島民及び返還運動団体との意見交換が行なわれ、支部長が出席の予定です。

2/10,11 後継者研修会 札幌市

地域のリーダーを育成し、相互の連帯意識や理解を深めるため毎年開催されています。返還運動のあり方や問題点を研修、活動状況や意識について全国の後継者と意見交換をします。支部からは、上月さん、五百木さんが出席します。

2/20 後継者語り部育成事業(レベルアップ講習)千島会館

連盟本部では平成18年から後継者を対象に各地域で語り部の育成にあたっております。その次の段階として、2月20日(土)18:30～「語り部」として必要な四島に関する知識や話術を習得してもらうため、フリーアナウンサー鶴羽氏による講習を行います。すでに対象者へご案内しておりますので是非ご参加をお願いします。

12/1東京 北方領土返還要求行動アピール行進

12月1日、管内元島民、二世、自治体関係者などが東京銀座で「四島を返せ」とシュプレヒコール行進(北隣協主体)を実施。支部からは臼田支部長、上月支部理事、白崎青年部長が参加しシュプレヒコールをあげました。



北隣協会長の長谷川根室市長らは、首相官邸を訪れ鳩山総理に早期解決をうったえました。総理は「北方領土問題には運命を感じる。

一生懸命頑張りたい」と述べたと報じられました。

一方後継者でつくる管内青連協も、連盟本部の計らいでかねて要望していた泉健太内閣府政務次官との面会が叶い、赤川連盟事務局次長が同行し、上月支部理事、白崎青年部長のほか野淵前青連協会長、館下会長、小貫根室支部青年部長が出席し、KJ法を用いた後継者による対話集会の継続と国後島以外の島への実施拡大、後継者活動支援と承継者の拡大、渡航船舶に係る要望(上陸時に高齢でも安心して使えるように、また管内後継者の雇用の配慮を)の三点を要望しました。



9/11～14 後継者ビザなし訪問 国後島

平成18年に始まった後継者によるビザなし訪問も4回目を数えました。当初三年の予定だったKJ法による対話集会ですが、「共住」をテーマに「当事者同士がより良い生活環境を構築するためにどうすべきか」。双方の参加者が心配や問題点を紙に書き出し、議論の基礎にし、日本人が島に住むための整備、ロシア人に返還させる気持ちを起こさせる議論の展開を目指しています。最終的には四島の生活環境改善のマスタープランにするのが狙いです。



医療や税金など、次々に問題点が貼り出されていきます。



10/24～25 後継者活動促進全国会議・セミナー 帯広市

後継者活動のトップリーダーとしての意識向上を図るため、毎年開催されている全国会議・セミナーが帯広市で開かれ、支部青年部より池田、大橋両副部長、天神、松原両理事の4名が出席しました。1日目は講演、意見交換、2日目は内閣府大塚参事官より後継者対策推進事業について説明を受けました。

橋本・エリツイン時代、当時外務審議官だった丹波實氏（財団法人日本エネルギー経済研究所顧問）の講演は、1997年11月クラスノヤルスク会談、翌年の川奈会談に同席された氏しか知り得ない話など披露し、今後の領土交渉について、ロシアのシベリア極東開発と日ロ関係、中ロ関係と日本の役割、欧米ロ関係と日本の対応が鍵だと話されました。

このあと、2班に分かれ国に対する要望や日頃の考えについて意見交換をしました。

新聞報道より

「不法占拠」に露猛反発

ラブロフ外相は、北方領土は「不法占拠されている」とした日本の政府見解について「我々は決して受け入れられない」と述べた。鳩山政権が11月下旬に示した見解に加え、前原北方相の12月1日の記者会見での発言に反発したものと見られる（12/16読売）ポロダフキン外務次官も「第二次大戦の結果ロシア領となったものだ」と述べた。（12/24読売）

日ロ外相会談要旨

岡田克也外相が12月27日訪ロし、28日ラブロフ外相と会談した。

岡外相「北方領土の帰属問題で目に見える進展が得られていないのは問題だ。」ラ外相「人為的に解決を遅らせるつもりはない。国際法や戦後の現実を踏まえて解決を目指すべき。本日限りでこれまで見られたような議論に終止符が打たれることを期待する」岡外相「領土問題があるために信頼関係ができず交流が深まっていない。議論すべきは四島の帰属問題だ。ド・ページェフ大統領とプーチン首相、鳩山首相という顔ぶれがそろって貴会を逃せば前進はできない。」（12/30読売）

あとがき

2010年が明けました。時間がどんどん流れていきます。日露外交に関する報道は、以前にも聞いた言葉の応酬。私たちの思いは通じるのか、新政権での戦略はまだみえてきません。

本年もよろしくお願いいたします。丹波氏の講演内容を詳しく知りたい方はお知らせください。(A)